

学習指導要領		スタンダード「基礎」
A 話すこと・聞くこと	ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。	<p>調べた内容を参考にして自分の考えをもち、根拠に基づいて話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会問題などについて、調べた内容を参考にして自分の考えをもつことができる。 ・根拠を示しながら自分の考えを話すことができる。
	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。	<p>目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉で話したり、メモを取りながら聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介のスピーチなどで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、言葉を選んで話すことができる。 ・自己紹介のスピーチなどで、相手の話をメモを取りながら聞くことができる。
	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。	<p>相手の考えを受け止め、自分の考えを説明し、円滑に話し合うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの話し合いなどで、相手と自分の共通点や相違点をとらえ、自分の考えに生かすことができる。 ・司会者や提案者を立て、言葉遣いを考えて話し合うことができる。
エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	<p>自己評価や相互評価を通して、自分の話し方や言葉遣いを見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p>	

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>幅広く調べた内容を整理して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会問題などについて、調べたり取材したりした内容を基に、自分の考えをもつことができる。 ・論拠に基づき、反論を想定しながら自分の考えを話すことができる。 <p>目的や場に応じて、資料などを用いながら、分かりやすく適切な言葉で話したり、要点を押さえて聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告や発表などで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、必要に応じて資料などを用いながら言葉を選んで話すことができる。 ・報告や発表などで、要点を押さえながら、話し手の主張を聞き取ることができる。 <p>相手の立場を理解し、相手の考えを踏まえて自分の考えを説明し、司会者や提案者などの役割に応じて円滑に話し合うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ討議などで、相手と自分の考えの共通点や相違点をとらえ、相手の考えの根拠を理解し、自分の考えに生かすことができる。 ・司会者や提案者などの役割に応じて、話し合いが円滑に進むように、話の構成や展開、言葉遣いなどを考えて話すことができる。 <p>自己評価や相互評価を自分の話し方や言葉遣いに生かし、話し手の多様な思いや考えに気付くことができる。</p>	<p>幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話すことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会問題などについて、調べたり取材したりした内容を様々な角度から検討して、自分の考えをもつことができる。 ・多角的な視点から、論拠に基づいて自分の考えを話すことができる。 <p>目的や場に応じて、資料や機器などを適切に用いながら、分かりやすく効果的な言葉で話したり、主題を押さえて聞き取ったりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告や発表などで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、必要に応じて資料や機器などを用いたり、効果的に伝えるように言葉を選んで話したりすることができる。 ・報告や発表などで、話し手の主張や、聞き手が必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取ることができる。 <p>相手の立場を理解し、相手の考えを生かしながら自分の考えを説明し、司会者や提案者などの役割に応じて円滑に話し合うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループやクラスの討議などで、相手の主張について、その根拠の適否などを確かめ、自分の考えに生かすことができる。 ・司会者や提案者などの役割に応じて、話し合いが効果的に展開するように、話の構成や展開、言葉遣いなどを工夫して話すことができる。また、状況に応じて、これまでの経緯を振り返ったり、これからの展望を考えたりしながら話し合うことができる。 <p>自己評価や相互評価を自分の話し方や言葉遣いに生かし、話し手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付き、自身の考えを広げ、深めることができる。</p>

学習指導要領		スタンダード「基礎」
B 書くこと	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた語句の使い方、態度、論の構成など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘することができる。 <p>誰に向かって何のために書くのかを考え、題材や文章の形態にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた題材に即して、自分が体験したことや考えたこと、身の回りのことなどから、相手や目的に応じた材料を収集することができる。 ・常体と敬体を区別し、どちらかに統一することができる。 ・語句や言い回しの重複を避けることができる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	<p>論理の構成や展開の仕方について知り、自分の考えをその根拠と結び付けて文章にすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「序論 - 本論 - 結論」を意識して600字程度の文章を書くことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・事実・意見・引用を区別し、根拠を示しながら自分の考えを明確にすることができる。
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の工夫を考えて書くこと。	<p>説明や描写の違いなどを知り、相手や目的を意識した表現の工夫で書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄などを具体的に説明したり、手順や理由などを順序立てて説明したりすることができる。 ・情景や人物、心情などを、読み手が想像しやすいように描写することができる。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的、場に応じた言葉遣い、態度、論の構成・展開の仕方など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘し、それぞれに込められた思いや考えに気付くことができる。 <p>誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の体験や考えたこと、身の回りのことなどから目的に応じて題材を選び、材料を収集したり選択したりすることができる。 ・常体と敬体を相手や目的に応じて使い分けすることができる。 ・複数の語句や言い回しの中から題材や文章の形態にふさわしいものを選択することができる。 <p>論理の構成や展開の仕方について理解し、論拠に基づいて自分の考えを文章にすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「序論 - 本論 - 結論」、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の組み立て方や進め方を取り入れて、600～800字程度の文章を書くことができる。 ・反論を想定しながら、論拠に基づいて自分の考えをまとめることができる。 <p>説明や描写を使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の工夫で書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的に説明したりすることができる。 ・情景や人物、心情などを、表現技法などを用いて、読み手が想像しやすいように描写することができる。 	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的、場に応じた用語や引例、態度、論の構成、展開の着実性や意外性など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘し、それぞれに込められた思いや考えとその意義・価値に気付くことができる。 <p>誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体や語句を工夫して書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら目的に応じて題材を選び、自分自身の体験や考えたことに加え、読書や調査および観察などで得られた材料を選択することができる。 ・常体と敬体を相手や目的に応じ、効果を考えて使い分けすることができる。 ・文章の形態や文体を考え、語句や言い回しを工夫することができる。 <p>論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを説得力のある文章にまとめることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「序論 - 本論 - 結論」、「現状認識 - 問題提起 - 解決 - 結論 - 展望」、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の組み立てや進め方を取り入れて、与えられた条件に応じた文章を書くことができる。 ・客観性や信頼性の高い資料を用いるなどして、多角的な視点から、論拠に基づいて自分の考えをまとめることができる。 <p>説明や描写を効果的に使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の工夫で書くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的かつ的確に説明したりすることができる。 ・情景や人物、心情などを、表現方法を工夫して、読み手がありありと想像できるように描写することができる。

学習指導要領		スタンダード「基礎」
C 読 む こ と	<p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p>	<p>自他の文章への評価を通して、自分の表現を見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成の仕方や語句の用い方などの良い点・直すべき点を指摘することができる。 <p>【現代文】</p> <p>文章の形態（小説・評論・韻文など）における表現の特色を意識しながら読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩法（直喩・隠喩・擬人法）を知り、文章中の比喩を指摘することができる。 ・小説の表現や韻文のリズムを、音読を通して味わうことができる。 <p>【古典】</p> <p>比較的短く平易な文章について、文章の形態の違いを知り、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。 ・物語・随筆・日記・和歌などのジャンルの違いを意識して、それぞれの作品を読むことができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的なきまり（訓点・再読文字・置き字・句法など）に従って音読することができる。 ・詩の形態や押韻を指摘することができる。 <p>【現代文】</p> <p>文脈をとらえ、筆者の考えなどを読み取ったり要約したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワードを指摘することができる。
	<p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p>	<p>【現代文】</p> <p>文脈をとらえ、筆者の考えなどを読み取ったり要約したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワードを指摘することができる。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>自他の文章への評価を通して、自分の表現に生かし、書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想の豊かさや論の構成・展開の仕方など、良い点・直すべき点を指摘することができる。 <p>【現代文】</p> <p>文章のそれぞれの形態における表現技法や語句の使い方の工夫などに注意しながら読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩法を理解し、文章中の比喩について説明できる。 ・小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱などを通して味わうことができる。 <p>【古典】</p> <p>量・難易度とも中程度の文章について、文章の形態の違いを理解し、表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文節や単語など区切りに注意して音読することができる。 ・物語・随筆・日記・和歌などの違いを理解して、それぞれの作品を読むことができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の基本的なきまりに従って音読することができる。 ・詩の形態や押韻、対句を指摘することができる。 <p>【現代文】</p> <p>文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを読み取ったり、指定された字数で要約したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で指摘することができる。 	<p>自他の文章への評価を通して、自分の表現を高め、書き手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手を意識した用語や引例、論の構成・展開の着実性や意外性など、良い点・直すべき点を指摘することができる。 <p>【現代文】</p> <p>文章のそれぞれの形態における表現技法や語句の使い方の工夫などに注意し、その効果を考えながら読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比喩法を理解し、文章中の比喩とその効果について説明できる。 ・小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱・朗読などを通して味わうことができる。 <p>【古典】</p> <p>比較的長く難易度も中程度以上の文章について、文章の形態の違いや特色を理解し、表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容や表現技法を踏まえた音読や朗読ができる。 ・物語・随筆・日記・和歌などの違いや特質を理解して、それぞれの作品を読むことができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容や句法などの表現技法を踏まえた音読や朗読ができる。 ・詩の形態や押韻を指摘し、対句について説明できる。 <p>【現代文】</p> <p>文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明できる。

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章中の指示語や接続詞を意識して読むことができる。 ・筆者の主張と具体例とを区別し、主張を中心に要約することができる。 <p>【古典】 比較的短く平易な文章を、基本的な文語のきまりや訓読のきまりに注意して、傍訳などの助けを得ながら、読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な用言・助動詞・敬語、係り結びなどを理解して、文章を読み取ることができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点や、基本的な再読文字（未、将など）・置き字（於、而など）・句法（否定、使役など）について理解して、文章を読み取ることができる。 <p>【現代文】 登場人物を押さえ、行動や性格、心情の変化をとらえることができる。</p> <p>登場人物の心情が情景描写にしばしば反映・象徴されることを理解する。</p> <p>《具体的な設定例》 芥川龍之介『羅生門』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各場面での登場人物の言動や心情を読み取ることができる。 ・比喩表現などから状況や心情をとらえることができる。 <p>【古典】 比較的短く平易な文章の場面や人物を押さえ、誰が、どうしたという流れを読み取ることができる。</p>

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<ul style="list-style-type: none"> ・文章中の指示語の内容や接続詞の働きを理解して読むことができる。 ・筆者の主張を抜き出して各段落を要約したり、指定された条件に従って全体を要約したりすることができる。 <p>【古典】 量・難易度とも中程度の文章について、主要な文語のきまりや訓読のきまりに注意しながら、語句や表現に即して読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用言・助動詞、基本的な助詞・敬語、係り結び、和歌の修辞などを理解して、文章を読み取ることができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解して、文章を読み取ることができる。 <p>【現代文】 登場人物の行動や性格、心情の変化、ものの見方、感じ方、考え方をとらえることができる。</p> <p>情景描写から心情を読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》 芥川龍之介『羅生門』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動や、心情とその変化を読み取り、説明できる。 ・比喩表現などから状況や心情をとらえて説明できる。 <p>【古典】 量・難易度とも中程度の文章の場面や人物を押さえ、行動や心情を読み取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。 ・文章中の難解な部分や含蓄のある部分について、詳しく説明・解説することができる。 <p>【古典】 比較的長く難易度も中程度以上の文章について、文語のきまりや訓読のきまりに従って、語句や表現に即して読み取り、内容を説明できる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <p>古文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用言・助詞・助動詞、敬語の用法、係り結び、和歌の修辞などを理解して、文章を読み取ることができる。 <p>漢文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点・再読文字・置き字、主要な句法について理解して、文章を読み取ることができる。 <p>【現代文】 登場人物の行動や性格、心情の変化、ものの見方、感じ方、考え方、生き方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。</p> <p>情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。</p> <p>《具体的な設定例》 芥川龍之介『羅生門』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動や、心情の変化とその過程を読み取り、理由を説明できる。 ・比喩表現などから状況や心情をとらえ、その移り変わりを説明できる。 <p>【古典】 比較的長く難易度も中程度以上の文章について、情景や登場人物の行動、心情、生き方などを読み取るとともに、情景描写の中にある心情の反映や象徴、物事の予兆としての表現などに気付くことができる。</p>

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>工 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>《具体的な設定例》 古文 『宇治拾遺物語』『児のそら寝』などで ・人物（誰が）場面（いつ、どこで）出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 ・児が心の中で思った部分を指摘することができる。</p> <p>漢文 李白「静夜思」などで ・人物（誰が）場面（いつ、どこで）出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 ・作者の心情を理解する。</p> <p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の主張をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》 ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ることができる。 ・情景や心情の変化に注意して、作品全体の筋（ストーリー）をとらえることができる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法を指摘することができる。 ・具体例と意見を区別しながら、書き手の考えの強調点をとらえることができる。</p> <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、自分の考えをもつことができる。</p> <p>《具体的な設定例》 ・様々な形態（文学的な文章・論理的な文章・実用的な文章など）や、幅広い内容・分野（芸術・社会学・自然科学など）の本や文章を読むことができる。</p>

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>《具体的な設定例》 古文 『伊勢物語』『芥川』などで ・人物（行動や心情）情景（場面、状況、風景）出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。 ・和歌に込められた男の心情を理解する。</p> <p>漢文 杜甫「春望」などで ・描かれた人物、場面、時代や場所、状況、出来事、情景を読み取ることができる。 ・「白頭搔更短」のような間接的な表現に込められた作者の心情を理解する。</p> <p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果を指摘したり、書き手の主張や目的をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》 ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てを指摘したりすることができる。 ・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋をとらえて説明できる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法を説明できる。 ・書き手の主張や意図を読み取ることができる。</p> <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》 ・様々な形態や幅広い内容・分野の本や文章を、書店や図書館だけでなく、ウェブページなど幅広い方法で入手し、読むことができる。</p>	<p>《具体的な設定例》 古文 『伊勢物語』『筒井筒』などで ・場面ごとの人物の行動や心情などを読み取り、説明できる。 ・それぞれの和歌に込められた心情を理解し、鑑賞することができる。 ・男の心情の変化とその理由を説明できる。</p> <p>漢文 陶潜「桃花源記」などで ・人物の行動や心情、場面、時代や場所、状況、出来事、情景などを読み取ることができる。 ・当時の中国の人々がどのような世界に憧れたかを読み取り、現実との関係を考えることができる。</p> <p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果や的確性を根拠を明確にして指摘したり、書き手の主張や目的、手法をとらえたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》 ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を的確に読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てや、「頭括型・尾括型・双括型」などの文章の型を指摘したりすることができる。 ・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋を的確にとらえて説明できる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比・比喩などの表現技法の的確性を根拠を示しながら説明できる。 ・書き手の主張を読み取り、説明できる。</p> <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <p>《具体的な設定例》 ・様々な形態や幅広い内容・分野の本や文章を、書店や図書館だけでなく、ウェブページなど幅広い方法で入手し、読むことができる。</p>

学習指導要領		スタンダード「基礎」
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア)言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。	<ul style="list-style-type: none"> ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り利用することができる。 ・読んだ文章を評価することを通して、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。 <p>日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、また外国の文化の影響に気付くことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集(万葉・古今・新古今)を知る。 ・基本的な古典知識(月の異名、十二支など)を知る。 ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの(故事成語など)を知る。
	(イ)文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。	<p>基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、基本的な用言の活用(「活用表が完成できる」など)、基本的な助動詞(「ず」「けり」など)、係り結び、敬語などを理解する。 <p>・訓点や基本的な再読文字(未、将など)・置き字(於、而など)・句法(否定・使役など)について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。</p>
イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア)国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。	<p>【現代文】</p> <p>語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて基本的な事柄を知り、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について基本的な事柄に気付き、活用することができる。</p>	

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<ul style="list-style-type: none"> ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて活用することができる。 ・読んだ文章を評価することを通して、文章に表れた書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。 <p>日本の伝統的な言語文化について主要な事柄を知り、また外国の文化の影響を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集、歌物語などについて理解する。 ・主要な古典知識(月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事)や価値観(結婚観や宗教観など)について理解する。 ・中国の文字や書物の影響のうち主要なもの(故事成語、漢詩など)について理解する。 <p>主要な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、用言の活用、助動詞・基本的な助詞(「ば」など)の意味・用法、係り結び、敬語、和歌の修辞などを理解する。 <p>・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解し、訓読したり書き下し文に改めたりすることができる。</p> <p>【現代文】</p> <p>語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて主要な事柄を理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について主要な事柄を認識し、活用することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて適切に加工しながら活用することができる。 ・読んだ文章を評価することを通して、文章に表れた書き手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付くことができる。 <p>日本の伝統的な言語文化について知り、また外国の文化の影響を理解し、主要な作品への影響を指摘することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集、勅撰集、歌物語などについて理解し、個々の文学並びに文学史について調べたり学んだりすることができる。 ・古典知識(月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事、官位など)や価値観について理解する。 ・中国の文字や書物の影響(故事成語、漢詩、史伝・思想など)について理解する。 <p>文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を正確に行うことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、用言の活用(「恨む」「飽く」などを含む)助詞・助動詞の意味・用法、係り結び、敬語の用法、和歌の修辞などを理解し、文法的に説明したり、本文の読解に役立てたりすることができる。 <p>・訓点、再読文字、置き字、句法について理解し、訓読したり、書き下し文を参考にして白文に訓点を施したりすることができる。</p> <p>【現代文】</p> <p>語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について認識し、活用することができる。</p>

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを理解する。 ・和語、漢語、外来語の区別ができ、効果の違いを知る。 <p>・言語の主要な機能（認識、伝達、思考、想像など）を理解する。</p> <p>【古典】</p> <p>言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について基本的な事柄を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読むことができる。 ・基本的な古今異義語（うつくし、をかしなど）の意味の違いを知る。 <p>【現代文】</p> <p>文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文について、文の成分（主語、述語、修飾語など）を指摘することができる。 ・比較的平易な文章の段落構成（序論・本論・結論、起承転結など）を理解する。 ・比較的平易な文章について、語句の意味・用法を理解する。 ・説明的文章に使用される語句のうち、基本的なもの（客観、具体、コミュニケーション、リアリティなど）の意味を理解する。 <p>【古典】</p> <p>古語辞典や漢和辞典を引くことができ、基本的な古語や漢語の意味を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な古語（遊び、いらふ、ありがたし、いとなど）40語程度の意味を知る。 ・基本的な漢語（不、使、也、欲、乃など）20語程度の意味を知る。

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係を説明できる。 ・和語、漢語、外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使われ方などを理解する。 <p>・言語の主要な機能を理解し、それが個人や対人的な領域だけでなく、社会的な領域で実現されていることを理解する。</p> <p>【古典】</p> <p>言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について主要な事柄を知る。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読み、表記したりすることができる。 ・主要な古今異義語（あはれなり、おどろく、ののしるなど）の意味の違いを知る。 <p>【現代文】</p> <p>文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて主要な事柄を知り、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分を理解し、照応関係に注意して文を書くことができる。 ・難易度が中程度の文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。 ・難易度が中程度の文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち主要なもの（相対、抽象、エゴイズム、グローバルなど）の意味を理解する。 <p>【古典】</p> <p>古語辞典や漢和辞典を活用し、基本的な古語や漢語の意味を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な古語（おぼえ、ながむ、あさまし、いかでなど）80語程度の意味を理解する。 ・基本的な漢語（豈、被、耳、況、已など）40語程度の意味を理解する。 	<p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成上の様々な関係について説明できる。 <p>・和語、漢語、外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使われ方などを理解し、使い分けることができる。</p> <p>・言語の主要な機能を理解し、それが社会的、歴史的など様々な領域で実現されていることを理解する。</p> <p>【古典】</p> <p>言葉の歴史的な成り立ちと変遷、語彙の歴史的な経緯について理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読み、表記したりし、その規則性を説明できる。 ・古今異義語の意味の変遷を理解し、言葉の成り立ちについて考えることができる。 <p>【現代文】</p> <p>文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、活用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分を理解し、照応関係や表現効果を意識して文を書くことができる。 ・様々な文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。 ・様々な文章について、語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち難解なもの（概念、普遍、カテゴリー、マクロなど）の意味を理解する。 <p>【古典】</p> <p>古語辞典や漢和辞典を活用し、主要な古語や漢語の意味を理解する。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な古語（ほど、にほふ、あたらし、なかなかなど）100語程度の意味を理解する。 ・主要な漢語（寧、如何、与、縦、若など）50語程度の意味を理解する。

学習指導要領	スタンダード「基礎」
<p>ウ 漢字に関する事項 (ア)常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字1006字を含む1300字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。</p>

スタンダード「応用」	スタンダード「発展」
<p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字1006字を含む1600字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。</p>	<p>常用漢字の全てを読み、その大体を書くことができ、文や文章の中で使い慣れる。</p>

教科：国語 科目：国語総合